

道と駅 その二

多摩湖自転車歩行者道

多摩の道と駅をテーマに街歩き。今回は多摩湖自転車歩行者道を旅します。

1,500株以上が開花するあじさいの名所

あじさい公園

昭和48年にあじさいの名所を目指してつくられた住宅街の中の公園です。園内では毎年「こだいらあじさいまつり」が開かれます。また、園内の池ではおたまじゃくしやスイレンが見られます。梅雨の時期、雨の中でお散歩しながら見る色とりどりのあじさいの姿は圧巻です。

📍小平市美園町1-25-23 (小平駅下車、徒歩5分)
☎042-346-9556 (小平市役所水と緑と公園課)

竹林に囲まれてバーベキューが楽しめる

たけのこ公園

昭和53年に竹林の保存とシンボル化を目指してつくられました。竹林の中にあり、自然豊かな原っぱで遊べます。4つ併設されているバーベキューサイトが大人気です。

📍小平市花小金井7-9-10
☎042-346-9556 (小平市役所水と緑と公園課)

自然を満喫できる都立公園

東村山中央公園

武蔵野の緑の保全と再生を目指して整備されました。広々とした公園の中央部の広場を中心に、東側にはアカマツやコナラなどの明るい林、西側にはバードサンクチュアリがあり、散歩やスポーツをする人たちが賑わいます。

📍東村山市富士見町5丁目・美住町1丁目 (八坂駅下車、徒歩6分)
☎042-392-7322 (東村山中央公園サービスセンター)

たまきた読者おすすめの店

炭焼工房 凧山丸

中央公園近くのセブンイレブン横にある焼き鳥屋さんです。少し職人気質な大将ですが、とてもおいしくとてもボリュームな焼き鳥は子供も大人も大好きです。

(東村山市 ちゃんめいさん)
📍東村山市富士見町5-3-23
🕒15:00-20:00 木曜定休
※注文は原則5串以上

豆知識 多摩湖自転車歩行者道とは

「多摩湖自転車歩行者道」は西東京市から東村山市多摩湖町へと続く自転車歩行者専用道路です(歩行者専用道路は一部区間のみ)。西東京市から多摩湖を一周する道のりには美しい自然や公園、カフェが数多く点在しており、サイクリングやウォーキング愛好者はもちろん、地元の人にも憩いの場として愛されています。

※平成30年4月1日より「多摩湖自転車道」から名称変更しました

武蔵野の歴史ロマン漂う和風公園

九道の辻公園

鎌倉街道をはじめ9つの道がこの付近で交差していたことが名称の由来です。道標であった「迷いの桜」の石碑もあります。水と緑をテーマにした日本庭園風の公園で、園内には滝や池などがあります。

📍小平市小川東町2-3-1 (八坂駅下車、野火止用水緑道沿い)
☎042-346-9556 (小平市役所水と緑と公園課)

たまきた読者おすすめの店

Ciao em Cafe (チャオエムカフェ)

ベトナム料理がとてもおいしい。ベトナムの雑貨に囲まれた店内の雰囲気もいいし、店員さんも感じのいいお店です。(小平市 たいこいずさん)

📍小平市花小金井南町1-27-111F
☎042-448-1264
🕒11:00-15:00/17:00-23:00 (平日)
11:00-23:00 (土日祝) 年中無休

凡例

- 📍 公園
- 📍 たまきた読者おすすめの店
- 📍 過去たまきた掲載店 WEB「たまきたMAP」でチェック!
- 📍 WEBはこちら!

五感で感じる新感覚東京ウォーキング

新型コロナ禍でウォーキングツアーを開催できずに半年が過ぎてしまいました。感染が落ち着いたら、心と体を再生する「アルキニスト流」ウォーキングを再開いたします。それまで運動を心掛け、良く食べ、良く休んで自分の免疫力を高めておきましょう。皆さんと「アルキニスト倶楽部」をご一緒できる時が早くやってきますように。

HP <http://arukinist.wixsite.com/arukinist>
FB <https://www.facebook.com/arukinist>

アルキニスト倶楽部

Tel 070-5550-1982 Fax 042-593-2056

たまきた編集部がつくる

自分史・記録誌

本のように、写真集のように、パンフレットのように。お好みの形で予算に合わせて冊子をおつくりいたします。

多摩密着の編集プロダクション

ことの葉舎

東大和市立野 3-572-2 ☎042-507-2385

この道沿いで味わう ローカルフード

探訪記 武蔵野うどん

今回訪れたお店は

うどん処 指田屋

📍小平市天神町2-5-25 駐車場あり
☎042-343-3791
🕒11:00-15:00、月・火曜定休

指田屋は1982(昭和57)年に店主の指田悦子さんが、お母さんから受け継いだお店です。子どもの成長などに合わせて営業時間や休業日を変えながら、一人でお店を切り盛りしてきました。阪神・淡路大震災後は建て替えをし、現在のお店があります。

うどんは数種の国産小麦をブレンドした手打ち。注文のたびに茹でる麺はつややかで口当たりがよく、優しい味のつけ汁も手伝ってすると食べられます。「作り方は母から教わりました。量ったことはいないから、何度来ても毎回味が違って飽きないですよ(笑)」という悦子さんのお店は、散歩やサイクリングの休憩と栄養補給に最適です。

①肉汁つけうどん (630円・大盛り150円増し) と野菜天ぷら (280円)。②多摩湖自転車歩行者道の開けた場所にあり、すぐそばには一休みできるベンチも。③囲炉裏があり郷愁を誘う店内。座席からうどんを茹でる様子も見える。④焼きだんご (100円)。混じり気のない米の味わい、しょうゆの香ばしさに感動。

たまきた PAPER 2020年秋号